

力を合わせ、力を競う

～南島原市綱引き大会 2月13日～

2月13日、第5回南島原市綱引き大会が、深江体育館で行われ、史上最多となる52チーム、約570人が腕力を競いました。白熱した試合展開に、会場は大いに盛り上がりました。近年は、日頃から綱引きを楽しむチームも増え、今後ますますの盛り上がりが見込まれます。

優勝チームは次のとおり
 ▼小学生の部：西有家少年クラブ
 ▼一般男女混合の部：慈恩寺体協
 ▼レディースの部：レディースきららA
 ▼一般の部：大根地T.A



市民芸術の祭典!

～南島原市市民文化祭

展示の部 2月4日から6日、芸能の部 2月13日

市民芸術の祭典南島原市市民文化祭が、展示の部、芸能の部それぞれに分かれ行われました。展示の部は、初めての試みとして、すべての部門を一堂に展示500点を超える展示物に、来場者は感嘆の声をあげていました。また、芸能の部では、13の団体が熱演。日頃の練習の成果をいかんなく発揮しました。文化の薫り高い南島原市、というイメージを支えているのは、セミナリヨや西望芸術のイメージだけではありません。日々を楽しむ市民によって創造されているのです。



子どもが変わる地域が変わる

～子ども農山漁村交流プロジェクトリレー

シンポジウム in 九州 2月5日



2月5日原城文化センターで、シンポジウムが行われ、県内外から約270人の参加がありました。養老孟司氏の講演や事例発表のほか、農家宿泊体験などをとおして学ぶことの大切さなど、意見交換が行われ、プロジェクトへの理解を深めました。

いつまでも元気で暮らすために

～南島原市介護予防研修会 1月29日～



1月29日、西有家総合学習センターで、介護予防研修会が行われました。研修会では、「みんなで取り組む介護予防」と題し、基調講演のほか、市内の介護予防自主グループによる活動紹介、参加者による活発な意見交換などが行われました。

市民の理解を得ながら 実のある改革を

～第2次行政改革大綱に関する答申～

1月27日、南島原市行政改革推進委員会が、市長に対して、第2次行政改革大綱で取り組むべき事項について答申を行いました。



これは市長の諮問に対するもので、平成23年度から27年度までの5年間で取り組む行政改革に対する意見をまとめたものです。今後、市ではこの答申などを踏まえて第2次行政改革大綱を策定し、行政改革を進めていきます。

トップアスリートから教わる投・走

～南向きファミリー元気フェスタ1月23日～



1月23日、南有馬運動公園グラウンドで、「南向きファミリー元気フェスタ」が行われました。講師は、2009年世界選手権男子やり投げ銅メダリストの村上幸史選手と五輪の400m競技に二度出場した田端健児さん。両選手に会おうと、多くの小学生が集まり、指導を受けました。最後に、村上選手が実際にやり投げを披露。やりの描く美しい放物線に、会場からため息がもれました。

舞い! 打ち! 踊る!!

～長崎県子ども会伝承芸能大会 1月29日～



布津無双太鼓継承会無双鼓坊主

1月29日、県子ども会伝承芸能大会がありえこレゾホールで行われ、市内から太鼓や浮立、先踊り、棒踊りなどに取り組む6つの団体がそれぞれ演技を披露しました。これは、「子どもの心につながる」というテーマに、県が毎年各地を巡回しているものです。市の財産である伝承芸能。子どもたちには、次の世代へ引き継いでほしいものです。

農産物の販路拡大をめざして

～農産物の輸出説明会 1月19日～



1月19日、農産物の輸出説明会が、ありえこレゾホールで行われました。これは、新たな販路の拡大の一助に市が開催したもので、農産物生産者など約30人が参加。長崎貿易情報センターの芝元所長の説明に熱心に聞き入っていました。

島原半島うまいものフェア



1月26日から2月1日まで、兵庫県西宮市の百貨店で、島原半島の特産品をメインに「うまいものフェア」が行われ、いちごやあらかぶなど、島原半島の産品をPR・販売しました。会場には、地元出身者も多数来場。懐かしいふるさとの味を楽しみました。

食の商談会 2011 in 福岡



1月20日、長崎県の主催で「食の商談会 2011 in 福岡」が行われ、南島原市からは、最多となる21の業者が出展しました。

出展者らは、流通・飲食関係者に対し、自社商品の魅力を丁寧に説明しました。

この商談会を契機に、福岡への販路拡大が期待されます。